

城下町

— 菊池市 —

城山は菊池市のシンボルである。この城山こそ隈府城跡で、南北朝時代に勇名をとどろかせた菊池氏の本拠。そして九州の南朝方の「基地」であっただけに、この城の攻防をめぐって幾多の合戦がくり広げられ、城は何度か落ち、また回復した。しかし菊池氏も南北朝の合一後は正統も断絶、やがて天正十五年秀吉の九州征伐。このころの隈府城は隈部親永だがのち秀吉の命で切腹を命ぜられてしまう。親永の死後、隈府城は廃城、勤皇菊池の栄光に輝いたこの城もついに菊池武政の築城いらい二百余年後に歴史の舞台から姿を消したのである。高い石段のいただき、美しい木立にかこまれた菊池神社のあたりはいつもきれいにはき清められ、温泉がたいたいまも城山は菊池の人たちのバックボーンなのである。

